



またかか

苅田町青少年育成町民会議だより

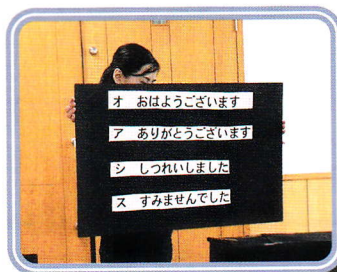
人形劇でオ・ア・シ・ス運動



苅田町青少年育成町民会議では、読み聞かせを広める会「マザーグース」（濱田順子代表）の協力で、毎年子どもたちを楽しませてくれる、オアシス人形劇を開催しています。

子どもたちは、わらべうた、手遊び、絵本、人形劇など…、次々出てくる出し物に大喜びです。『オアシス』のことばの意味も学ぶ事ができ、とても楽しい時間を過ごす事ができました。

~楽しいひととき!!~



心豊かで
たくましい

青少年の育成を目指しましょう。

荻田町青少年育成町民会議 第22回 総 会

■とき 平成22年 4月27日(火)
 ■ところ 三原文化会館 大ホール

平成22年4月27日(火)

荻田町青少年育成町民会議
 第22回総会が開かれました。来
 賓として、行橋警察署 生活安全
 課課長 家永英明氏、荻田町議
 議長 武内幸次郎氏がご出席下
 さいました。

吉廣町長の挨拶から始まり、
 昨年度の主な事業と決算報告
 があり、今年度の事業計画案な
 どを提案しました。

また、今後の課題等について
 活発な意見が出、総会を閉会し
 ました。



▲部会ごとの事業計画の説明



《重点目標》

1. 地域・校区単位で子どもたち
 を中心とした異年齢交流を促
 進し、各種体験活動や遊びを共
 にする場を数多く提供してい
 くよう努める。

2. 少年犯罪や「不審者」等によ
 る被害から子どもたちを守る
 ため、行政、警察、学校をはじめ、
 自治会・PTAなどのいろいろな
 団体との連携を深め、非行防
 止活動及び啓発活動を積極的
 に推進する。

3. 昨年度より荻田町が取り組
 んでいる「荻田町非行防止推進
 事業」活動に賛同し、積極的に
 参画していく。

4. 青少年問題に関する、広報、
 啓発活動を一層推進する。

以上をふまえて、これからの青
 少年の健全育成を推進してま
 いります。



町民会議会長 吉廣 啓子

平成22年度の主要事業計画

4月

○防犯広報活動(年間毎週一回)
 ○理事会・総会

○少年を守る日補導(毎月第3水曜日)

○港まつり花火大会会場警備

○朝の声かけ運動

○オアシス人形劇公演(対象:幼・保)

○有害図書要望訪問

○オアシス人形劇公演(対象:幼・保)

○夏休み特別補導

○すこやか62号発行

○シンナー等薬物乱用防止講演会

○教育講演会

○夏休み特別補導

○荻田町盆踊り補導

○室内競技

いじめストップ強調月間

○いじめストップキャンペーン実施

○健全育成講演会

○神幸祭補導

○子どもフェスティバル

○先進地研修視察

○オアシス等入選者表彰

○朝の声かけ運動

全国青少年健全育成強化月間

○すこやか63号発行

○年末特別補導

○年始特別補導

○どんど焼き補導

○家庭教育講座

○役員・委員講演会

○春休み特別補導

○すこやか64号発行



平成22年度 福岡県青少年育成県民会議通常総会



県民会議
 通常総会に参加して

■とき 平成22年5月25日(火)
 ■ところ 博多サンヒルズホテル



町民会議 町民会議
 会長 原角 主
 副 千三

福岡県下より104名の会員が
 参加し、議案審議に先立ち、平
 成二十二年度青少年団体表彰
 を行い、永年の活動に対し、8
 名の個人表彰・4組の団体表彰・
 2名の感謝状が授与されました。
 議案審議に入り、今年は例年
 になく活発な意見が飛び交い、
 大幅に時間を延長し、有意義な
 通常総会となりました。

三角 主計

7月は青少年を非行から守る強調月間です。

この機会に自分・地域の子どもたちを見直しましょう。

青少年を非行から守る全国強調月間にあたり荻田町青少年育成町民会議では、その取り組みのひとつとして、「有害環境の浄化推進」運動を行っています。

◇その1：役場玄関東側に懸垂幕を掲げ、町民の周知を図る。

◇その2：青少年に有害な図書・図画等の販売について、配慮のための町内書籍・ビデオ店訪問。



みんなで守る子どもたちの安全
「朝の声かけ運動」

.....「声かけ運動」もっと身近に.....

6月18日、小糠雨が降る中、荻田中学校正門前で、朝の声かけ運動に参加しました。「おはようございます」と生徒に声をかけると、「おはようございます」と元気な声が返って来て、ホッとしました。さすが「日本一あいさつの良い学校にしよう！」と荻田中学校だより「高城山の風」にいつもうたっているだけのことはあると思いました。二人だけ無言の生徒がいましたが、きつと恥ずかしがり屋か親にしかられて送りだされたのか、それなりの理由があるのだなと思いました。

そんな中学生達を毎日ここで出迎える先生達は、きつと顔を見ただけで生徒の心身のコンディションがわかるのだらうなと思います。朝早くから校門立ちをして下さっているのだと思うと本当に頭が下がります。校門立ちの前にはゴミ拾いもされています。

「先生、可能性を沢山秘めた荻田町の宝もの達をよろしくお願いします」と念じながら、生徒達が健やかに成長すること願う私でした。

松枝 玲子

かんだ港まつり「花火大会」の補導に出席して

かんだ港まつりの数々のイベントの中でも、最大の呼び物であり、近郊より多くの見物客が集まるのが花火大会です。

私たち補導委員の仕事は、見物客の皆様が観覧席の柵より海側に出ないように見回り、ゴミや空き缶などが散らかり、海に落ちないようにゴミ袋を持って拾い集めたりする役割です。

場内放送があり、会場ライトが消され花火の打ち上げが始まりました。音とともに夜空に広がる色や形の美しさに、「わあっー」「わあっー」「美しい」という歓声

のうちに1時間の『夜空に咲く光と水のショー』は無事に終了しました。

会場を巡回しながら、各持ち場(場面)に多くの関係機関の方たちの大きな協力があって、このイベントの実施されていることを実感しました。

補導環境部会 猪本 泰子



少年非行・シンナー等薬物乱用防止講演会開催される

1. 日時 平成22年7月2日(金)
2. 場所 三原文化会館 大ホール
3. 講師 元福岡県警察本部 少年課
非行防止・児童虐待防止対策担当
合屋 知津子 氏
4. 演題 『薬物乱用撲滅にむけての

地域での取り組み』について

講演内容は、健康や生命を危うくする薬物乱用について、正しく理解し、子どもたちを守るためには、家庭、学校、地域住民、関係団体などの連携がより一層重要になってくるといったことを主なテーマとし、ご講演をいただきました。

当日大変お忙しい中、ご参加をいただいた皆様ありがとうございました。

「ダメ。ゼッタイ。」と
断る勇気をもとう。

薬物乱用を防止するためには!!

- 薬物乱用の危険性は身近にあり、自分には関係ないと思わないこと。
- 誘われても「ダメ。ゼッタイ。」と断る勇気をもつこと。
- 一人で悩まないで友人や家族に何でも相談すること。

通学合宿

期間 6/20～6/26

▶小波瀬コミュニティセンターで



3年生が中心の通学合宿になりましたが、最後まで「まるっと生活体験」をして、家族のもとへ帰っていきました。もらい風呂体験で地域の方々の存在を知り、ふれあうことができました。

また、大浴場では、友だちとふれあい、食事・掃除・洗濯等日常生活の一般を協力し合って、達成することを体感したと思います。

最終日は、家族への思いが募り、足早に家路を急ぎました。



元気な子どもたち！

いただきました！

おめでとうございます！（敬称略）

● 福岡県知事賞 ●

● 銅 賞 ●



麻生 菜月
(葛川育成会)



上原 綾
(尾倉育成会)

平成22年 3月27日

教育センターにおいて、平成21年度青少年健全育成ポスター入賞者の表彰式がありました。

これらは、平成22年度の福岡県子ども会のカレンダーの絵となります。



前向きな親の姿は、きっと子どもに届いてる。

ひとり親家庭では、親が働きながら子育てをするため、ゆっくと子どもと接する時間が少なくなりがちです。しかし、子を思い、より良い将来に向かって努力する親の姿は、しっかりと子どもたちの心に響いているはずです。

また、様々な悩みなどは、一人で抱え込まず、親類や友人の協力を得たり、地域の相談窓口や子育てを応援・サポートしてくれるシステムなどを積極的に活用したりしましょう。



いつも自信を持って子育てをする、と決めよう。

パパとママの一言

(No.16)



子ども同士の間には成長過程で必要なことです。以前、子どもがケンカしていたのを見かけました。しかし時間が経つといつの間にか一緒に遊んでいる光景を目にしたものです。

私が子どもの頃、ケンカして泣いて帰ると、父から「相手も泣いたか？」と尋ねられたことを思い出しました。何故父はこんなことを聞いたのかと今頃考えています。多分「お前が怒ったり、悔しかったり、悲しかったりしたと同じように、相手も同じ気持ちで泣いたのであれば仲直りできる。心配いらない」と思っていたのでしょう。また「泣いていた相手の気持ちも考えろ」と言いたかったのでしょうか。

昔はケンカしてもほっとけばすぐ仲直りしていましたが、現代の子はケンカしても仲直りの方法がわからない子どもが多いようで心配です。これは子どもどうして遊ぶことが少ない、兄弟姉妹が少なく、自己主張(わがまま)が過ぎる、自分の思いをうまく表現できない子が多いのうまではないかとバアバアは思うのです。

また子どものケンカに親が出るのは如何なものでしょうか。昔は「子どものケンカにすぐ親が出て」とたしなめる良い機会に親が出て行つて

ては成長の芽を潰すことになるしなかりはしないかと心配するのです。でも23日経っても仲直りしていなければ適当なアドバイスは必要でしょう。まず子どもの気持ちを「うんうん」と聞いてやり共感してやること、相手の気持ちも考えさせること、自分が間違っていたら「ゴメンネ」と言う勇気を出させること、等ではないかなあ。所詮、子どもは失敗したり成功したり体験で成長するのです。わが子一人だけで成長することはできません。大勢の子どもどうしてたくさん遊ばせることが一番大切だとバアバアは思うのです。



新津トンネル見学



片島小学校



アンカーに
書いた私の夢を、
つけました。



五月三十日(日曜日)に片島小学校、三、四、五、六年生と保護者、地域の方で、東九州自動車道の新津トンネル建設現場の見学に行きました。

工事関係者より説明を受けた後、トンネルの入り口で記念写真を撮り、トンネルに入りました。トンネル工事の見学は初めてでありトンネルを掘る大きな機械など、規模の大きさに驚きの連続でした。一人一人自分の夢をアンカーに書き、トンネルの壁面につけました。

全長は二千七十メートルで現時点では七百メートル進んでいました。完成まであと二年ほどかかるということです。

児童の感想

今日、トンネル見学に行きました。三、四、五、六年生で行きました。トンネルの中は、水が上から落ちてきたりしました。水をさわったら、とてもつめたかったです。どんどん歩いていくと、大きな機械がありました。マイヤにくさりがついていました。よくまわっていました。みんなで写真を撮りました。トンネルの作り方が分かってよかったです。



授業参観のあとトンネル見学に行きました。はしを通っている水路の水をさわりました。とてもきれいでつめたかったです。次にプロペラみたいなアンカーを金鉄さんにはめました。



ぼくは、アンカーにぼくの夢を書きました。

今日、授業参観があわってからトンネル見学に行きました。はじめてなので、ワクワクしていました。中にはいると少しひんやりしていました。カベのつなぎをはめるときとてもかかいました。これをつづつするには大変そうだなと思いました。水をさわったらとてもつめたかったです。わたしはダイナマイトでトンネルの作業をみたかったです。お花がいつまでも残ってほしいです。



子どもたちを見守る「抑止力」

防犯協会から表彰状

5月26日、多年にわたり、模範となる防犯活動、青少年補導活動など健全育成活動に尽力している団体として、平成22年度行橋、京都府地区防犯協会から表彰状を受けました。

また、6月1日には、吉廣町長を表敬訪問し表彰の報告をしました。

少年補導功労者表彰

6月4日、第31回少年非行防止大会が福岡市早良私立センターで開催され、行橋警察署少年補導員荻田支部所属の3名が表彰を受けました。

いずれも、地域において非行少年の補導等に長く携わり、今回の功労が認められ受賞となったものです。

福岡県内の少年非行の情勢は、平成15年をピークに減少傾向にあります。但し、窃盗等の刑法犯で検挙・補導された少年は、全国ワースト6位で質的に悪化傾向にあります。「地域の子どもは、地域で育てる」という強いメッセージとともに、地域社会と一体となった取り組みが求められています。

金丸 晴樹

警察庁長官・全国少年警察ボランティア協会会長連名表彰

田畑 隆氏

九州管区警察局長・九州少年警察ボランティア連絡協議会会長連名表彰

羽廣 正純氏

福岡県警察本部長・福岡県少年補導員連絡協議会会長連名表彰

金丸 晴樹氏

8/1
開催

子どもたちと大人のふれあい広場

“みんなで楽しく心と体を弾ませて!!”

町内の子どもたちと大人が一堂に集い、スポーツインストラクターを招いて、楽しく運動やゲームを行います。最近親子の交流が少ないなあとか運動不足の方、解消しますよ。夏休みに汗をかき、他の家族とともにふれあいましょう！みんな集まれっ!!

1. 日 時 平成22年8月1日(日)
受付9:30~ 開始10:00~
2. 場 所 荻田町総合体育館 アリーナ
3. 対 象 保育園・幼稚園・小学生の子どもたちと保護者
※町民の方どなたでも参加できます
4. もってくるもの 運動靴
タオル
(30×75センチぐらいのもの)



待ってるよ!



おぼえよう

イカのおすし

こわいめに あわないために

イカ

行かない

知らない人について 行かない

の

乗らない

知らない人 の 車に 乗らない

お

おおこえで 大声で さけぶ

「助けて!!」と 大きな 声を出そう
(ぼうはんアザーを もっているから 助けて!!)

す

すぐにげる

こわかったら 大人の いる 方に すぐに げる

し

知らせる

どんな 人が 車を したか、 家の 人 に 知らせる

ゆくはしけいさつしょ・ぼうはんきょうがい

編集後記

昔は運動会といえは秋だったが、いつ頃からか春も多くなった。

私は、何十年ぶりか孫の通っている小学校の運動会に行ったが、走ったり、可愛いダンス・カッコいいダンスだったり・・・。

競争遊戯の場合、道具は昔と同じだが、内容が少し変わっていて、最後までチーム皆で力をあわせて競わせたり、赤白全学年対抗だったりと、一生懸命頑張っている姿、元気いっぱい輝いているそんな子どもたちをほほえましく、とても頼もしく思えた一日だった。



尾田 弘子

22年度すこやか編集委員

編集長 松枝 玲子
委員 濱田 勝枝



荒鬼 文子
尾田 弘子
金丸 晴樹
工藤 正志

編集・発行

荻田町青少年育成町民会議
すこやか編集委員会
☎ 093・434・9838